

会議報告書

内 容：境港市文化財保護審議会

日 時：平成27年3月23日（月）14：00～17：00

会 場：中央公民館

出席者：佐々木教育長

根平会長・小灘副会長・畠中委員・門脇豊文委員・門脇真澄委員・山本委員

欠席者：中田委員・中村委員

事務局：生涯学習課 沼倉課長・堀田主任

傍聴者：なし

会議内容

1. 開会

2. 佐々木教育長あいさつ

- ・小灘浩氏の市史編纂室退職について報告。
- ・市民会館使用停止に関連して

美保飛行場周辺まちづくり構想（防衛省の補助事業を利用）として、新たな施設を建設する。防災施設として自衛隊との交流を第一義的に行う施設を複合的に建設してはどうかということになってきている。ホール機能や会議室、図書館も入れる。建設に入るのは、平成30年くらいとされている。会議のみではなく、美術品や文化財の展示等を行えるスペース等を設け、市民が、そして市民の文化が集い、文化の拠点になればと考える。

- ・図書館は、月の第二土曜日のみ、9:30～18:30 まで開館する予定。図書館長の退任もあり、新年度から新図書館長となる予定。

3. 議事・報告

境港市文化財保護条例の規定により、以後は根平会長が議長として会を進行。

（1）平成26年度文化税保護事業について

＜平成26年度の文化財保護事業につき事務局が説明＞

（質疑応答）

- ・文化財めぐりについて

（委員より質疑）

秘仏も公開されたか。

（事務局より回答）

公開されていない。

（委員より意見）

開催案内をもう少し早くしてほしい。

- ・中海・宍道湖・大山圏域だんだんパスポート

（委員より質疑）

配布対象としているのは地元住民か？観光客か？

(事務局より回答)

地元住民への周知と観光客への周知

(委員より質疑)

配布場所が図書館や生涯学習課ということであったが、観光客へも配布ということであつたら駅や観光協会でも配布しても良いのではないか。

(事務局より回答)

説明が言葉足らずであつた。生涯学習課で設置を主導した場所が、図書館・海とくらしの史料館・弓浜絆伝承館。それ以外にも、境港駅等で設置もしている。

(委員より意見)

だんだんパスポートにおいて、弓ヶ浜としてあるのは、正しい標記である。それに関連して、添付資料8の文化財一覧「弓浜半島」と標記してある。一般的には「弓浜半島」と呼ばれるが国土地理院の定義では、ここは正式には「半島」には当たらない。標記は「弓ヶ浜」のみとすること。

・史跡鳥取藩台場跡（境台場跡）に関する国への現状変更申請及び慰霊塔の状況

灯台外壁改修

慰霊塔支持地盤調査

(委員より質疑)

ボーリング調査時のコアは、かなり圧縮されたものか。どのような状況であつたか。県教委と共に確認は行ったか。

(事務局より回答)

県教委とは申請の際にやりとりをしていたが、県教委が現地立会をする話はなく、市教委の立会について助言をいただいた。市教委から、依頼はしていない。状況の分析まではできていない。

(委員より意見)

県教委にも立ち会いをしてもらった方がよい。又、コア自体も将来的に、市の教育委員会にももらえるようにしておくこと。20メートル掘削すれば、おそらく台場の基礎まで到達しているものと思われる。

(事務局より回答)

報告書に合わせて、抜き取ったコアの原本についても提出してもらえるかを確認し、提出してもらえることであれば、そのように手配する。

(委員より質疑)

慰霊塔の改修は、来年度か。

(事務局より回答)

調査結果を踏まえて、来年度補正予算にて、改修となる見込み。主管は都市整備課。

(委員より意見)

できるだけ早目に改修に取り掛かって欲しい。

・ネットミュージアム構想について

補足説明：12月議会で文化財マップの作成について、議員から提案があつた。そこで、いまの子供達は、インターネットも利用して情報を得ていることから、その場を利用して指定

文化財以外の情報も含めて、提供していければということで出てきた構想。

できることから、少しずつ取り組んでいければと思う。子供達にわかりやすく。

(委員より意見)

デジタル化の時代であり、ホームページの画像がクリアになって良かったところもある。しかしながら、年配者はアナログ世代であり、その世代に向けて、簡単なガイドブック（予算がつけば、それなりのものを作れば良いが）を20年ぶりくらいに作成しても良いのではないか。又、学校等に配布しても良いのではないか。市民は文化財を知らない。

ガイドブックの制作も、この構想と合わせて検討してもらえればと思う。

(委員より質疑)

古い蔵などの家屋を滅失した際に、古いものがでてくることがある。それを収蔵しておく場所があれば、保管の後、何らかの調査をした際に、本当の価値がわかってくるものがあるのではないだろうか。

ものの価値がわからないと、簡単に廃棄されてしまう。受け入れ場所があれば、気軽に相談をすることもできるし、簡単に廃棄されることも少なくなり、良いのではないだろうか。古いものについての啓発（呼びかけ）をしていけばよいのではないだろうか。

(事務局より回答)

古いものについての、収集の呼びかけをしたことはないと思われるが、古いものについての呼びかけを市報を通じて行う等、啓発について検討をしていく。

(委員より意見)

棟札については、県も調査を行っている。先日は、瀬崎弥陀仏の棟札の調査に来られた。

・「初代鳥取県県令・河田景与ゆかりの額」について

補足説明：現状調査が途中段階である。西村傳九郎と西澤幸造とのつながりを戸籍等により調査、余子神社・大港神社へ奉納した額地板と鏡に、扁額の変遷を辿る手掛かりがないかを確認するなどし、引き続きの調査の結果を待って、文化財としての価値を判断する。

※会長より追加報告：荒尾家旧蔵文書特別展

海とくらしの史料館にて、秀吉直筆の書状などの展示を行った。

境港も調べてみたら、いろいろなものがあるということの一つの表れ。啓発を行い、次世代へ引き継いでいけたらと思う。

(2) 平成27年度事業について

＜平成27年度の文化財保護事業につき事務局が説明＞

・文化財巡り

(委員より意見)

例年の実施時期はいろいろな行事が重なり、一番忙しい時期。そこを外してほしい。例えば、11月下旬から12月上旬や春とか。

・庄司家西側外壁の修繕費に対する補助

副会長より補足説明：庄司家で開催している茶会については、昨年開催で10回を数える。この10回目で茶会は、一旦休会となる。その茶会の際にも、この外壁改修の話があった。外壁改修の後には、庄司氏へ一般公開についての話をしていきたいと思っている。

(委員より意見)

庄司家も含めて、面谷家・植田家の一般公開を検討して欲しい。

(事務局より追加説明)

植田家については、NPO 法人元気みなと商店街が中心となって、一般公開の準備をしている。

・無形文化財について

(委員より意見)

市指定文化財に無形文化財がない。一つくらい指定があっても良いのではないだろうか。例えば、「御講内」、「丁佐」、「境さんこ節」など。御講内については、その参加者が減ってきている。後世へ伝えていくべき文化財の一つ。候補選定し、次回の審議会で、指定についての提案ができるように準備できていたら良い。

(3) その他

・戦後 70 周年記念展示事業

「青い目の人形」について、山本委員から提案。

平和の使者であるこの人形を通して、平和や戦争を考えていけたらよいのではないか。

(委員より質疑)

この事業の主はどことなるか。

(事務局より回答)

境港市教育委員会。展示と、市内の戦争体験者からの戦争体験を話していけたらと考えている。

(委員より質疑)

実行委員会という形式はとるか。

(事務局より回答)

実行委員会という形式をとるかどうかは、今後検討していく。

(委員より意見)

戦争にまつわるものを、市報を通じてなど、展示物について、市民に呼びかけてみても良いと思う。

(事務局よりのお願い)

戦争を知らない世代の目を覚まさせるような内容にしていければと思うので、お力添えをお願いしたい。

・海とくらしの史料館にて保存してある「うりけん状」「ほりあけ状」について

(委員より意見)

収蔵庫に保管してあるので、湿度管理はできているが、防火対策が気になる。耐火金庫に保管する等、検討して欲しい。

4. 閉会